

第25回 1月12日(木) 13:00～14:30

コミュニケーションの進化と コロナ後の社会



山極壽一氏

総合地球環境学研究所 所長

会場:津田塾大学小平キャンパス特別教室

<講師プロフィール>

1952年東京生まれ。京都大学理学部卒、同大学院理学研究科博士後期課程退学。理学博士。(財)日本モンキーセンター・リサーチフェロー、京都大学霊長類研究所助手、同大学院理学研究科助教授、教授、理学研究科長・理学部長、京都大学総長を経て、現在に至る。国際霊長類学会会長、国立大学協会会長、日本学術会議会長を歴任。現在、環境省中央環境審議会委員。南方熊楠賞受賞。ゴリラの研究をもとに人類社会の進化を探究している。著書に『家族進化論』(東大出版会)、『ゴリラからの警告』(毎日文庫)など多数。

<担当スタッフより>

山極さんは「ゴリラ研究」の第一人者です。そしてその「ゴリラ研究」での学びを「霊長類学」という人間を知るための学問に結びつけていらっしゃいます。私たち人間は、自分自身を知り理解しようとする際、一般的に他者の目に映る「外から見た自分」を頼りに自身を定義づけるでしょう。その一方で、山極さんは、「ゴリラ」という人間との境界域にいる動物を通して、人間を、もっと言えば、自分自身を知ろうと努めていらっしゃいます。今回の講演から、「ゴリラ研究」という新しい視点・考え方の「枠」を獲得し、同時に「ゴリラ」という動物と、「ゴリラ研究」での発見を活かした学問・霊長類学が、私たち人間にもたらず計り知れない可能性について、ぜひ知ってほしいと思います。